

## 【別紙】テレビ設備再構築に関するアンケート回答

## 意見

十分なコンセンサスが得られていない状況での議案化には反対

## 過去の経緯

2017年10月の理事会でJ-COM担当者より同様の提案を受けた。

4K/8KやBS放送を見れるようにするのであれば、アンテナ線による視聴よりも、オンデマンドも可能な光ケーブルによるインターネット接続のほうが、将来にわたって有効であるとの結論になった。

それに基づいて、2018年3月の総会で、各戸個別に光ケーブルを敷設できるようにするための議案を決議した

当時と比べて、同軸ケーブルが勝る状況にはなっていないと思う。

## 提示された資料について

J-COMからの提案であるので当然だが、TVは同軸ケーブルで視聴するものと決めつけ、マンションの資産価値を下げかねない外観を損ねることを必須としてメリット・デメリットを提示したもの。今後5～10年の問題点と他の解決策との比較検討した結果が示されていないため、提案が妥当とは判断できない。

## 外観を損ねなう方法で、同軸ケーブルを敷設するのが妥当か。

J-COMを含めて、全国のCATV業者は、各戸まで同軸ケーブルから光ケーブルへの移行を進めている。

光ケーブルは10,000Mbps(10Gbps)、同軸ケーブルは最大320Mbpsで、アップロードはさらに遅くなる。

同軸ケーブルでのサービスは、中長期的には停止されることが予想される

当マンションでは、既に各戸個別に光ケーブルが敷設できるようになっており、それを使った4K,8KのTV視聴、5G,6Gのサービスを受けられるインフラはできている。

## それでも進めるのであれば、下記の条件を契約で確約すること

他の有用なサービスへの移行が望ましいと判断される時に、管理組合の費用負担なく解約できること、同軸ケーブルを撤去して現状回復ができること

4K/8K以外のJ-COMのサービスを必要としない各戸は、現状と同じように、将来にわたって、契約及び費用を負担せずに利用できることを保証すること。

各戸個別で4K/8Kの契約をする場合、初期投資・月額利用料等を含めたコストパフォーマンスが他のサービスより良いことを示すこと。

## 総会での議案化は時期尚早

以上の状況を踏まえると、いきなり議決案件にする前に、組合員全体に十分なコンセンサスが得られる検討と結果の精査の期間が必要。

J-COMに同軸ケーブルのサービスを説明させるのであれば、現行の光ケーブルでインターネットサービスを行っているNTT東日本の説明も同時に受けるべき。